

和歌山

地域面3ページ

和歌山支局

〒640-8154 和歌山市六番丁5
 和歌山第一生命ビル4階
 TEL 073(431)1411
 FAX 073(433)0650
 wakayama@mainichi.co.jp

【通信機関】

橋本 0736(32)0063 新宮 0735(28)1751
 海南 073(482)0675 御坊 0738(22)2511
 湯浅 0737(62)2870 田辺 0739(26)1026

【広告問い合わせ】

073(423)9291

【購読問い合わせ】

0120-468012

和泉式部と行基の傳承地

絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華

熊野古道

ふたつとくさし記

24

中辺路の伏拝王子(9月25日付)や信太森(第4回)2014年 葛葉稻荷神社(第19回)で、上東門院の侍女。

11月6日付)を訪ねた際に触れた和泉式部の歌が気になり、その傳承地・大阪府岸和田市を訪ねた。和泉式部として名高い。

和泉守道貞と結婚したが、離婚、再婚を繰り返した恋多き歌人。和泉式部日記の著者として名高い。

和泉守道貞と結婚した言い伝えがある。見晴らしのよい浄行寺建立の以前の浄行寺塚で暮らしたと伝えられる。墓盤石、腰掛石が残っていた。また、積川神社を遙拝されて舞臺を奏されたとき、鳥居に掲げられた扁額の筆蹟が「恋の淵」「式部塚」など「正一位積川大妙神社」の八文字を大書され、この額に代えられたと見えて来ない。和泉

承などから額町の地名が生まれたが、現在小松里町に吸収されている。JR久米田駅から住宅地を歩くと視界が開けて、奈良時代の僧・行基の開発による久米田池が満々と水を湛えていた。池の多い泉南地区らしく、灌漑用のため池にしては大規模で、取り仕切った行

基の計画性と管理能力の高さが伺えた。岸辺の木陰には久米田土地改良区集会所、水門近くには大阪府ため池観測局があり、現在は行政の監督下に置かれて湖岸の周回道路は約3キロあり、小鳥がさえずる市民の憩いの場になっていた。なぜここにこんな立派な寺院があるのかと不思議に思いつつ、池を臨む久米田寺でひと休みし



久米田寺と久米田池(大阪府岸和田市池尻町)

受け継がれる敬意と感謝

守道貞も現地に赴任しなかつたようで、後人による後付け伝説かもしれない。ここに共同洗い場があるのは、昔から地下水が豊かで大量の清水が湧き出るからで、「泉」の地名も

下松町の隣の額原町の浄行寺、小松里町の積川神社遙拝鳥居には熊野詣での白河上皇の

た。案内板を熟読する。久米田寺は7257338年に行基が久米田池の維持管理のために建立した隆地院に始まる。鎌倉幕府の有力者・安東重聖別の「行基参り」には、当職が1282年、西今も行基への敬意と久米田池への感謝を受け、真言宗、律宗、華厳宗の兼学寺院として、各地から学僧が集り、高僧も輩出。南北(次回は29日掲載予定)

秋なすび 秦華